

見学調査報告書

テーマ : 商品開発マネジメントの探求
ゼミ名 : 菅野 洋介 ゼミ
調査日 : 2023年12月6日(水)
調査先 : 三菱電機株式会社 総合デザイン研究所
授業科目名 : 演習 I・II
参加学生数 : 18名(1年)、11名(3年)

調査の趣旨(目的)

本見学調査では、三菱電機の統合デザイン研究所を訪れ、当該企業において統合デザイン研究所が事業や製品開発活動においてどのような役割・機能を果たしているのかを理解することを目的としている。

調査結果

調査では、統合デザイン研究所の戦略グループマネジャーより、統合デザイン研究所では「デザイン」がどのようにとらえられていて、製品開発や事業にどのような役割を果たそうとしているのかという基本的な考え方をうかがった。また、統合デザイン研究所が全社的にどのような組織的な位置づけにあり、そのような組織体制がどのような意図によって設計されているのか、その効果や課題は何なのかについて、詳しいお話をさせていただくことで、製品開発機能の中でも特にデザインに関わる機能の組織設計の基本的な考え方や実践を理解することができた。

また、家電製品の開発を担当されているデザイナーの方より、実際の製品開発事例についてお話いただいた。ここでは、デザイナーのコンセプト提案から開発が始まり製品化され、市場で成功を収めたクリーナー「iNSTICK」とパン焼き機「BreadOven」の開発が具体的にどのように行われたのかについて、詳しいお話をうかがった。ここでは、開発にあたって消費者のクラスター分析をどのように考えて実施したのか、それにもとづいて製品コンセプトや製品デザインをどのように生み出したのか、さらには、開発を進めるにあたって他部門との相互調整をどのように進めながら問題を解消していったのか、臨場感溢れるお話をうかがいながら具体的な製品開発プロセスを理解することができた。

最後に、ショールームの見学させていただきながら、実際に開発された製品を拝見させていただくとともに、先行開発されているコンセプトモデルを拝見させていただきながら、将来の顧客ニーズをどのように予測して創造しているのかを学んだ。